

卒業生を送る言葉

「われ愚人を愛す」19世紀英国の文人 チャールズ・ラム
の言葉である。大学を卒業すればそれぞれ専門の知識を身
につけたことになる。しかし知識は一事であるが人間は万
事である。ラムが愚人といったのは、知識の広さよりも人
間の愛が大切だということである。

諸君の目前には、就職・結婚という人生のコースが待っ
ている。しかしその生活の中で大事なのは、つねに人間を
大切にし、知識にのみ頼らないことである。

これからの諸君の人生が、人間としての自分を大切にす
るとともに、社会の一員として人間の役割を果し、悔いの
ない人生を送ることを心から期待して別れの言葉とする。

昭和56年3月22日

東洋大学長

磯村英一